

民生のひろば

第41号

編集・発行 鎌ヶ谷市民生委員児童委員協議会（通称＝民児協） 〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
鎌ヶ谷市総合福祉保健センター ☎047-444-2231

支えあう 住みよい社会 地域から

～ 令和6年度合同研修会開催 ～



講師



キャラバンメイトの寸劇



南部地域包括支援センター長

地域の良き相談相手として

令和6年10月18日に民生委員児童委員の合同研修会を、総合福祉保健センターで開催し、認知症サポーター養成講座を受講しました。

鎌ヶ谷市高齢者支援課によるキャラバンメイトさん6名より正しい知識、サポーターの役割、認知症の人に対応する際の留意点を学び、寸劇による認知症講座の終了後には、関連する事業の紹介や、防災無線での行方不明者の放送に關してのお話があり、大変参考になりました。

長寿の時代と言われ、認知症になることが当たり前である今日、今回の研修会で学んだ事をしっかりと理解して、皆様が安心して過ごせるように、見守り活動や訪問活動に努めてまいります。不安な事や悩み事などありましたら、近くの民生委員児童委員にご相談ください。



寸劇

今日は
〇曜日だよ

分別
できて
ますか？



受講の様子

中央地区 林 元子

民生委員をお引受け受けて10数年、今年度も秋の民生委員活動のひとつとして「高齢者見守り」訪問が行われました。

毎年のことながら、初めて伺う方も顔なじみの方もワクワクしながらお声をかけさせていただきました。

多くの方にお会いでき喜怒哀楽の話に納得したり共感したりしました。

今では地域の方から声をかけていただき喜ばしい限りです。

これからも隣人愛を持って活動していきたいと思っています。

東部地区 齋藤 ヒデ子

民生委員になって3年目になります。

担当区域にひとり暮らしで、心配な人がいらつしたため訪問し、南部地域包括支援センターに繋ぐことができて、入院することになり、ホッとしました。

今後ひとり暮らしの高齢者が増えると思いますが、お一人お一人に寄りそって楽しく対話して見守り、健康に気をつけて活動していきたいと思っています。

西部地区 積田 恵子

最初民生委員って、どんな事をするんだろうと不安でいっぱいでしたが、前任者の方が一緒に回ってくださってとても心強かったです。

雇われている方は訪問時に留守で会えない事が多いなど、訪問時の心得を聞くことができました。

今年の熱中症のチラシ配布で訪問したお宅で連絡を入れて、西部地域包括支援センターに連絡を入れたらすぐに訪問してくださり、リハビリサービスが受けられるようになりました。

民生委員に相談して良かったと感謝されこちらも嬉しくなりました。

これからも親身になって話をお伺いできる民生委員に成長していけるように頑張ってください。

見守り活動を振り返って



中央東地区 大木 久明

令和5年4月、任期途中の就任で民生委員児童委員を引き受けました。活動してきて嬉しかったことは「あなたはいつもニコニコしているから民生委員に向いているわね」とあるひとり暮らしの方から言われたことです。

令和7年は改選の年、これからも笑顔を保ち、見守り活動をしてゆきたいと思っています。

南部地区 吉村 てるみ

「ご家族を亡くされたという情報がないまま訪問し、その事実を知らされ、言葉かけの難しさを感じることもありました。

また「いつも気にかけてもらってありがとう」という言葉をいただき励まされることもありました。

言葉かけに気をつけながら、ひとりひとりに寄り添って活動していきたいと思っています。

北部地区 佐々木 勝子

仕事を辞めて人の為に役に立つ事をしたいと思い民生委員の活動をはじめて4年になります。

最初の訪問は、不安な気持ちでチャームを押しました。「ご苦労様です」と笑顔で応対してくれる人「まだ、民生委員の世話は必要ない」と迷惑そうなお調子で話す人。いろんな人が居て一喜一憂しながら続けてきました。

ひとり暮らしの高齢者が増えていく昨今、課題が多い現状に少しの手助けができれば嬉しいです。そんな気持ちを大切にこれからも14名の仲間を支えられ楽しく続けていこうと思っています。

編集後記

広報部会では年1回「民生のひろば」を発行しております。広報の役割は皆様に民生委員児童委員の活動を知っていただくことです。

民生委員児童委員の合同研修会に参加し寸劇を交えながらの認知症サポーター養成講座を受け、修了証として可愛いロバのマスコットをいただきました。

人と人とのつながりを広げながら楽しんで活動して、民生委員児童委員の活動に興味を持ち、やってみたいと思っています。

原稿の作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

広報部一同

おめでとうございます

厚生労働大臣表彰
民生委員・児童委員功労者
南部地区民児協
山崎 幸子さん
北部地区民児協
鈴木 和子さん

千葉県社会福祉協議会会長表彰
民生委員・児童委員功労
(故) 本間 克子さん

視 察 研修会

防災に関する取組



令和6年6月20日（木）～21日（金）で視察研修会を行いました。
視察先は鋸南町と匝瑳市野栄地区の民生委員児童委員協議会2カ所です。

鋸南町 「令和元年房総半島台風被害から学んだこと」 要旨

房総半島台風15号で鋸南町の7割にあたる2146世帯の屋根が飛ばされるなど大きな被害を受け、特に風で飛ばされた瓦が窓ガラスや家屋、車等につかり多くの被害が出たというお話がありました。

また、停電が16日間続いた地区もあり、高台の家では水の出が悪くなり、風呂水で水洗トイレを流したというお話もありました。

匝瑳市野栄地区 「防災に関する取り組みについて」 要旨

地区の大きな地図が野栄アリーナの一室に貼っており、民生委員が調査した要援護者名簿を基に要援護対象家屋を記号で表していました。普段、高齢者サロンや体操等を開催している社会福祉協議会推進委員が中心となって民生委員児童委員と連携しながら災害時の初動活動（要援護者支援）訓練も行っています。

また、匝瑳市では民生委員OB・OGが活動を支援しているそうです。



匝瑳市野田・栄地区 大木副会長

視察研修会を終えて

今回、「昨今、多く見受けられる地震や台風被害について、他の市の民生委員児童委員はどのように活動されているのか」を学ぶため、民生委員児童委員協議会の理事25名で視察研修に伺いました。台風で被害に遭われた鋸南町、災害への取り組みに力を入れている匝瑳市へ訪問させていただき、さまざまなお話を伺うことができました。

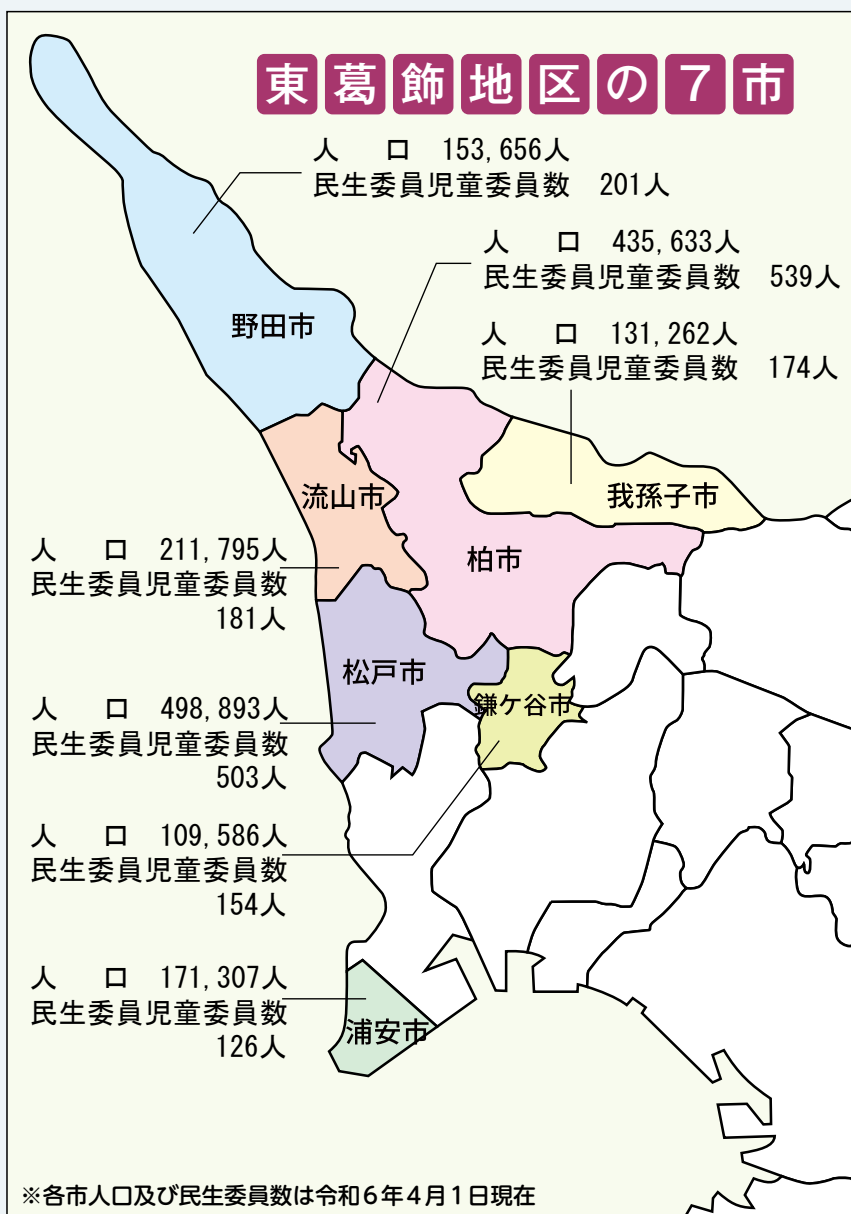
鎌ヶ谷市民児協では、災害支

援に関する部会を設けており、平時や発災時の対応について検討を重ねています。今後は、視察研修会で学んだことを鎌ヶ谷市民児協で活かせるよう努めていきます。自然災害はいつ起きるかわかりません。日頃から災害時に持ち出せる非常用バッグを準備するなどのできることから地域の皆様に伝えていきたいです。



東葛飾地区民生委員児童委員会長会

令和6年7月23日（火）鎌ヶ谷市役所にて東葛飾地区会長会を開催致しました。東葛飾地区は「我孫子市」「浦安市」「柏市」「流山市」「野田市」「松戸市」「鎌ヶ谷市」の7市です。昭和58年から輪番で開催地とし、今年度は鎌ヶ谷市が当番市でした。民生委員児童委員の役割が多様化する中で、民生委員児童委員も地域の一員として、自治会、地区社協との関わり方、何にも増して高齢者の安否確認、災害時要支援者の把握等の情報交換をする会議でもありました。また委員同士の親睦を図ることの意義を兼ねた会議でもありました。



情報交換の様子



鎌ヶ谷市民児協 鈴木会長あいさつ



鎌ヶ谷市民児協東部地区 田代会長